

新道東地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	<p>(事業の必要性)</p> <p>札幌市新道東地区は、平成27年に時間最大42mm/h（東区土木センター観測）の大雨により道路冠水の浸水被害が発生した。本地区は地下鉄新道東駅や東15丁目・屯田通などの主要幹線道路を有し、その利便性から商業施設が多く立地する、都市機能が集積した地区であり、さらに避難所、要配慮者関連施設も立地しているため、生命の保護、都市機能の確保の観点から、早急な浸水対策が求められる。</p> <p>(該当する地区要件)</p> <p>当該地区は、災害対策基本法に基づく地域防災計画に位置づけられた施設（緊急輸送道路及び災害時基幹病院）が存在し、商業・業務施設等の人口が集積している地区である。また、内水浸水シミュレーションにより既往最大降雨（50mm/h）で浸水面積が約35ha想定されることから、地区要件に該当する。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：50mm/h ・目標とする理由：大正2年8月に札幌市で記録した既往最大降雨：50mm/h ・ハード整備による整備水準の目標：35mm/h（10年確率） <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i)生命の保護の観点：要配慮者関連施設等への浸水を軽減する。 ii)都市機能の確保の観点：緊急輸送道路の浸水深を30cm程度以下にとどめ、機能保全を図る。 iii)個人財産の保護の観点：床上・床下浸水等の建物被害を軽減する。 iv)その他：特になし <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により35mm/h（10年確率）の降雨において浸水被害を軽減する。 ii)ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> ソフト対策として、下水道管理者においては内水ハザードマップの公表等による情報提供を、市全体においては対応力向上を目的とした災害対策本部訓練等を実施する。自助として、地域住民においては止水板の設置や土のう積み等を行う。それぞれの主体が対策を実施することにより、施設整備で対象とする降雨を上回る既往最大降雨（50mm/h）等に対して、浸水被害の軽減を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<p>有 (令和4年3月18日策定済み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定予定 (令和〇年〇月末策定予定) 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	合流管渠の整備 延長 1.3km
			下水道管理者以外	
	ソフト対策	下水道管理者	内水ハザードマップの公表	
		下水道管理者以外	災害対策本部訓練の実施	
	自助	ハード対策		止水板の設置や土のう積み等
		ソフト対策		

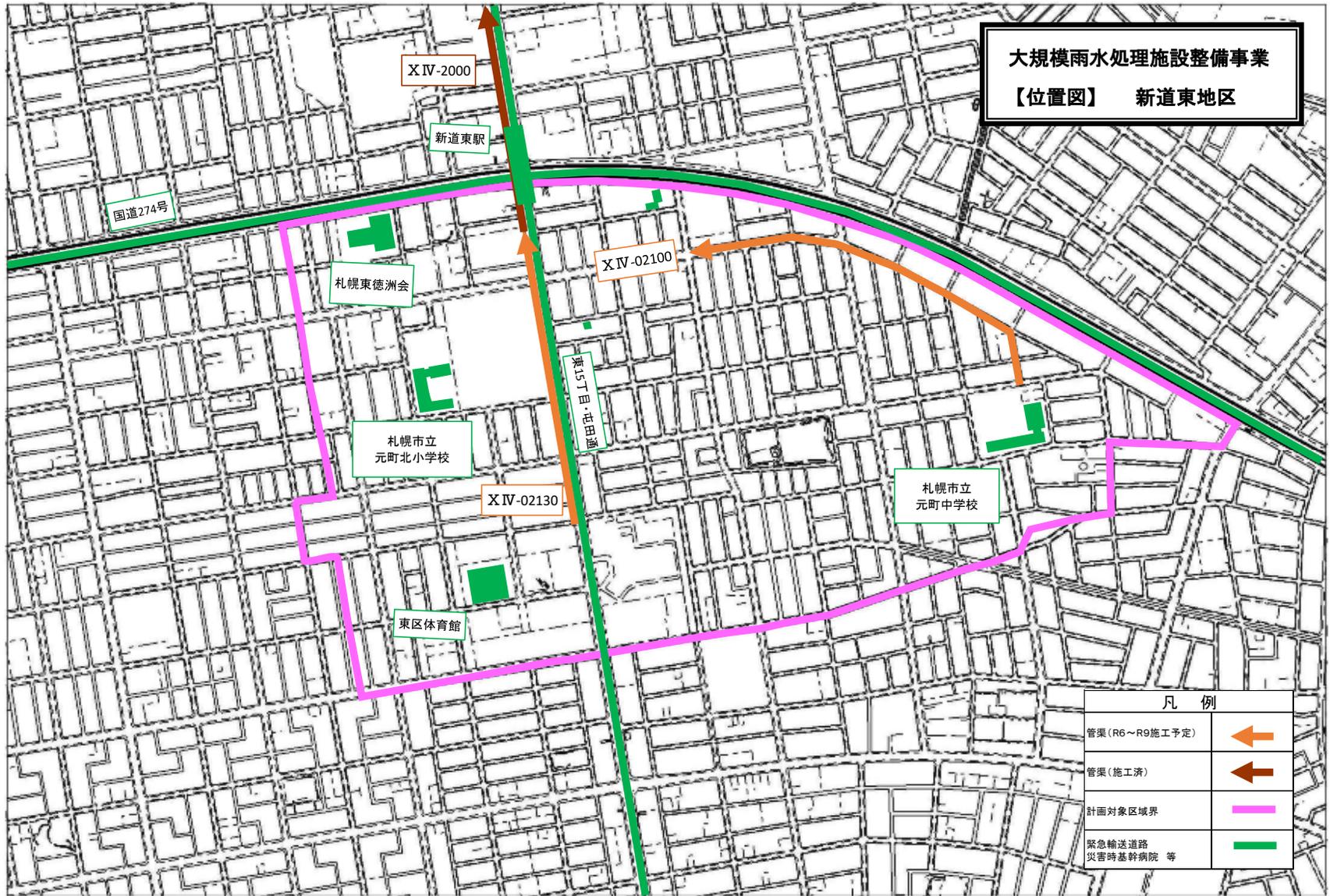
管渠調書							
管渠の名称	処理区の名称	合・雨の別	内のり寸法 (mm)	延長 (m)	概算事業費 (百万円)	工期	備考
XIV-02100	創成川処理区	合	800	760	1,105	令和6・7年度	
XIV-02130	創成川処理区	合	900	240	377	令和9年度	
	創成川処理区	合	1,100	245	442	令和8年度	
	創成川処理区	合	1,350	80	168	令和8年度	
調査検討	創成川処理区	合	—	—	56	令和6・7年度	
計				1,325	2,148		

年度計画（百万円）

名称	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
XIV-02100	291	814			1,105
XIV-02130			610	377	987
調査検討	6	50			56
計	297	864	610	377	2,148

項目	内容・施策等
整備効果	<p><事業評価の内容></p> <p>浸水被害の軽減便益：2,443百万円が削減される。</p> <p>（「下水道事業における費用効果分析マニュアル（案）令和5年9月国土交通省水管理・国土保全局下水道部」に基づき、算定）</p> <p>B/C：1.2（評価期間を50年と設定し、費用対効果を算定）</p> <p>経済的内部収益率：4.9%</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等：</p> <p>ソフト対策として、下水道管理者においては内水ハザードマップの公表等による情報提供を、市全体においては対応力向上を目的とした災害対策本部訓練等を実施する。</p> <p>自助として、地域住民においては止水板の設置や土のう積み等を行う。それぞれの主体が対策を実施することにより、施設整備で対象とする降雨を上回る既往最大降雨（50mm/h）等に対して、浸水被害の軽減を図る。</p>
放流先河川との調整状況	<p>当該地区の雨水の放流先である伏籠川の整備水準は、本計画の整備水準の目標（10年確率降雨）を上回っている。</p>
その他	

大規模雨水処理施設整備事業
【位置図】 新道東地区



凡 例	
管渠 (R6~R9施工予定)	← (orange arrow)
管渠 (施工済)	← (brown arrow)
計画対象区域界	— (pink line)
緊急輸送道路 災害時基幹病院 等	— (green line)